

川崎医療福祉大学創立30年記念特集

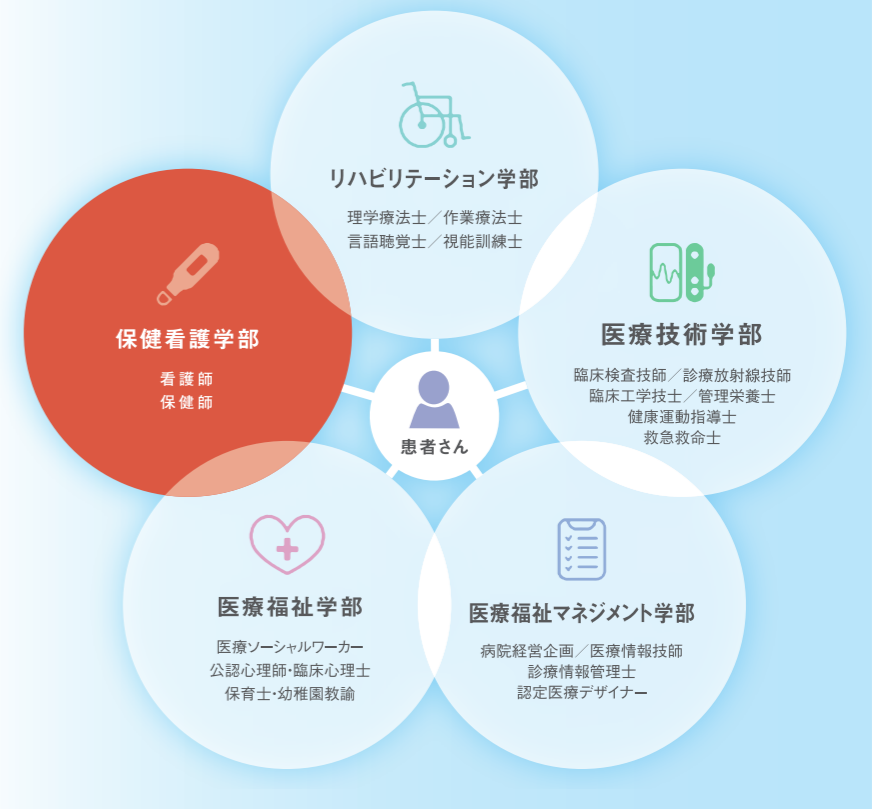


企画・制作/山陽新聞社広告本部

「医療福祉」の未来はここから
医療福祉人育成の実力

保健看護学部

川崎医療福祉大学(倉敷市松島288)は、国内初の医療福祉大学として1991年に開学し、現在5学部17学科を有しています。本学保健看護学部は、人々の健康を包括的にとらえ、科学的根拠に基づいた知識、論理的思考に基づく判断力と的確な基本技術を用いて、人々の幸せに貢献する看護専門職の育成に取り組んでいます。



その人らしさを尊重し
生命と生活を支える



看護師 阿部 加奈さん
川崎医科大学総合医療センター勤務
2018年卒

看護師は、保健・医療・福祉施設や、地域・在宅などで、対象者の療養生活の援助や生活の管理など治療の補助を行い、病気の予防や健康回復の支援を行っています。時には、人生の終わりを迎える人や、その家族をサポートも行います。さまざまな場面で、個々人の生き方や価値観を尊重し、生命と生活を支えるスペシャリストです。

保健看護学科

本学科で重視するのは、臨地実習での学びです。病院の患者さん、福祉施設・地域で暮らす療養者さんやご家族に対して、現場の看護師とともに実際に支援を行い、必要な基礎的能力を培います。1年次の福祉施設での実習で看護職の基本的な姿勢や態度を身に付け、2年次以降、2つの附属病院での実習では、現場の看護師から最新の看護実践の知識・技術を学び、医師から臨床講義を受けることも可能です。さらに、訪問看護ステーションでの実習も行い、病院からの在宅移行支援看護や在宅看護の実際を学びます。

学内の実習室には十分な台数のベッドやシミュレーターを完備。附属の大学病院が隣接する好環境により、現場の看護師が大学での演習に参加し教員とともに指導にあたり、臨床と教育の乖離を解消し、知識や技術の一貫性を保つ指導を行っています。



保健師 横山 奈歩さん
倉敷市保健所勤務
2014年卒

人々に寄り添い
健康と生活を衛る

保健師になるには、看護師の免許が必要です。主な仕事は、保健所・市町村保健センターなどの行政機関や、事業所、医療機関などで人々の健康管理や保健指導を行うこと。個人のみならず集団や地域も対象とし、あらゆる年代・立場の人々の疾病に「予防」の視点で関わります。活動の幅は広く、新型コロナウイルス感染症などの感染症対策や、母子保健対策、生活習慣病予防や、介護予防、自殺対策など多岐にわたります。医師が患者さんを診断するときに、保健師は地域を診断し、その実状に合わせた活動をします。地域に根ざした保健師の取り組みは、災害時にも大きな力になります。人々の健康と生活を衛る保健師のニーズが高まっています。

2つの附属病院での実習

川崎医療福祉大学と隣接する「川崎医科大学附属病院」、岡山市中心部にある「川崎医科大学総合医療センター」。本学の学生は、最新の医療機器を備えたこれら2つの大学病院の充実した環境で、質の高い実習を行っています。実習においてさまざまな職種との医療スタッフと関わること、チーム医療の一員としての自覚を育み、将来即戦力として活躍できる人材の育成に取り組んでいます。臨床現場で働く看護師から豊富な経験に基づいた実習指導を受けることにより、現場で使える生きた知識や高い技術を身に付けることができます。



川崎医科大学附属病院(倉敷市)



川崎医科大学総合医療センター(岡山市)

質の高い支援のできる専門家を養成

川崎医療福祉大学大学院
医療福祉学専攻

保健看護学専攻

本専攻では、医療福祉の理念を根底においた看護ケア・提供システムに関する教育や研究を行い、高度専門職業人を育成しています。カリキュラムは、基礎看護理論研究分野を基盤とし、さらに保健看護学などの4つの研究分野から構成されています。

中でも助産学研究分野では、助産師国家試験受験資格を得ることができます。助産師は、妊娠期の保健指導や出産のサポート、産後の育児まで母子とその家族を中心にケアする専門職です。助産学関連の講義と演習を助産師有資格者である教員、実習施設の産科医師および助産師が行っています。また、臨地実習では教員がマンツーマンで指導にあたり、充実した学びと確かな実践力の習得を可能にします。

【取得可能な資格・免許】

- (助産学研究分野) ●助産師(国家資格) ●助産師実地指導員 ●新生児蘇生法専門コース認定資格
- (高度実践看護研究分野) ●がん看護専門看護師 (看護管理研究分野) ●認定看護管理者

看護師特定行為

看護実践・キャリアサポートセンター



胃ろう交換演習

人生100年時代を迎え、看護職の学び直しの場を提供する目的で、2016年4月に看護実践・キャリアサポートセンターを開校しました。そして、2017年4月にジェネラリストの実践能力の向上と看護師の業務拡大の推進のために「看護師特定行為研修」、同年10月に臨床現場のリーダー育成を目指して「認定看護管理者教育課程フェーストレベル」、2018年には地域の看護職や介護職を対象にした「一般研修:在宅における重症化予防」、さらに2020年4月、「特定行為研修を組み込んだ認定看護教育課程(2分野)」を開講し、現在4つの事業を展開しています。

中でも、当学園の特定行為研修では、基盤となる看護の視点に医学的な視点を加えることによって、病態判断力や臨床推論力を強化し、医師と協働しながら変化する患者さんの状態にタイムリーに対応できる能力が磨かれていきます。医療機関内にとどまらず、今後の在宅医療にも大きく貢献できると期待しています。

演習の一部と実習は基本的に川崎医科大学附属病院と川崎医科大学総合医療センターで行っており、当学園が全面的にサポートしています。

オンライン

第47回 川崎学園祭

公開日 10/17日 10:00 配信START



自宅でオープンキャンパスを体験しよう!
WEB OPEN CAMPUS

スマホ・PCからアクセス!! / 川崎医療福祉大学 web OC



医療福祉学部

- 医療福祉学科 ●臨床心理学科 ●子ども医療福祉学科

保健看護学部

- 保健看護学科

リハビリテーション学部

- 理学療法学科 ●作業療法学科 ●言語聴覚療法学科 ●視能療法学科

医療技術学部

- 臨床検査学科 ●診療放射線技術学科 ●臨床工学科 ●臨床栄養学科 ●健康体育学科

医療福祉マネジメント学部

- 医療福祉経営学科 ●医療情報学科 ●医療秘書学科 ●医療福祉デザイン学科



本学では、2019年に設置された。医療福祉学部保健看護学が本学部の保健看護学科に改組され、優れた看護師、保健師を養成しています。また、大学院では、助産師等を養成しています。1995年に医療福祉学部保健看護学科が開校されて以来、約2000名の看護職を輩出しています。

本学では、川崎医科大学附属病院、同総合医療センターを中心に質の高い実習を行い、高度な看護実践能力を身に付けることができます。一方、良い医療を提供するためには、多職種連携によるチーム医療が欠かせません。患者さんにも近い立場にある看護師は、その中でも中心的な役割を果たします。本学にはさまざまな医療福祉専門職を目指す学生が在籍しており、学生間の交流によりチーム医療の基盤が形成されます。

本学部では、今後も「かわらぬ思い」で、医療福祉の理念に基づく全人的な看護を提供できる専門職を育成いたします。

看護職育成の礎は
医療福祉の理念



川崎医療福祉大学
保健看護学部長
守屋 文夫